

(社) 日本原子力学会
第 56 回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 23 年 6 月 15 日(水) 13:35～17:30
場 所 日本原子力学会事務局会議室
出席者 北村委員長、大場副委員長、作田幹事、小澤委員、杉本委員、辻委員、中野委員、平野委員、弘津委員、宮越委員、三好委員、山本理事、平山副会長(13 名、委員名簿順)

配布資料

- 資料 56-1 第 55 回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料 56-2 情報発信HP作業進行状況
- 資料 56-3 2011 年秋の大会(9/20-22)企画セッション提案書
- 資料 56-4① 第 15 回倫理研究会について
- 資料 56-4② 第 14 回倫理研究会の講演記録
- 資料 56-5 倫理委員会内規(案)
- 資料 56-6 第 36 回技術倫理協議会議事報告
- 資料 56-7① 平成 23 年度倫理委員会委員一覧
- 資料 56-7② 小林様(萩原委員後任)委員立候補理由書
- 資料 56-8 倫理ケースブックの紹介文案

議事

1. 資料 56-1 により前回議事要旨(案)を確認し、承認された。
2. 資料 56-2 により平野委員からFAQのホームページ作業進行状況に関して、説明があった。あと1週間程度で完了できる予定。ホームページのメンテナンスについては、理事会へ検討を依頼することとしていたが、この緊急時において学会事務局に負担をかけられないこと、現実的にはメンテナンス作業はあまり発生しないと考えられることなどから、初期不良については倫理委員会(平野委員)が無理のない範囲で対応することとした。それ以降の問題発生時には、都度、議論することとした。
3. 資料 56-3 により作田幹事から 2011 年秋の大会企画セッション見直し案の説明があった。今回は、情報発信にテーマを絞ることとした。講演タイトル副題の「社会のニーズに応えられたか」は、「社会のニーズに応えられているか」の現在形に見直し、企画セッションタイトル他で「情報発信の観点から」を「再考する」の前に追記することとした。情報発信は、早く・正しく・わかりやすくが重要であるが、どのような情報を扱うのか、どの時点での発信を想定するのかによって内容は変わってくると思われる。大場副委員長がスピーチ原稿(案)を作成し、次回委員会において議論することとした。また、一般公開

のあり方についても合わせて議論することとした。作田幹事が提案書を修正し、学会事務局に提出することとした。

4. 資料 56-4①により宮越委員および三好委員から第 15 回倫理研究会のテーマ（福島事故関連）、趣旨とプログラム案について説明があった。各委員から種々の意見が出され、重要なキーワードが抽出されたが、この範囲にとどまることなく、十分な議論が必要との合意に至った。本研究会は、議論の間口を広くとり、倫理委員会クローズで開催することが承認された。現時点では 8 月 1 日（月）午後の開催を予定することとした。

資料 56-4②により中野委員から第 14 回倫理研究会（H22.11.17, 福井工業大学）の講演記録について、講演者の確認を得ていることの説明があった。今後、作田幹事が同研究会の講演録をホームページに掲載する作業を行うこととした。

5. 資料 56-5 により作田幹事から「倫理委員会ホームページ運用内規（案）」、「倫理委員会への問題事例提起の対応内規（案）」、「倫理問題に関する意見表明の手続き内規（案）」の説明があり、承認された。作田幹事が内規番号を記入し、学会事務局に提出することとした。

6. 資料 56-6 により平野委員から第 36 回技術倫理協議会議事と、平野委員が同協議会で発表した「技術倫理協議会の活動に若手を取組む企画の提案」についての紹介があった。同協議会発足の趣旨は、各学協会間の情報共有であり、現時点でその目的は達成され、新しいフェーズに入っていることから、今後、倫理委員会としても協力の位置づけを確認していくこととした。

7. 資料 56-7 により作田幹事から平成 23 年度の倫理委員会体制について説明があった。前回委員会に欠席の委員に対して、来年（平成 24 年）6 月まで任期延長することの了承をメールにより確認した。また、萩原委員の後任については、小林氏の推薦があり、理事会に諮ることとした。

8. 資料 56-8 により作田幹事からケースブック 3 の学会員へのメーリングリストによる紹介文案の説明があった。現時点では福島事故について触れないわけにはいかないと思われるが、その文章表現の検討には時間を要する。このタイミングでは紹介文を出さないこととした。現在、773 部の在庫があり、将来的には学会事務局の保管スペースの問題が出てくるとも懸念されるため、別の保管場所の検討を行っておくこととした。ケースブックの頒布活動を進めるため、倫理委員がケースブックのサンプルを持参して紹介する活動も積極的に行っていくこととした。

9. 中国電力㈱ への見解（案）に関する投票を作田幹事が 6 月末までに実施することとし、見解のホームページへの掲載時期については、三役に一任することが承認された。

10. 次回倫理委員会は、平成 23 年 7 月 19 日（火）13:30～ 原子力学会事務局で開催することとした。

以上